

# 国語：夏の俳句

② 与謝蕪村（よさふそん）

夕立や  
草葉をつかむ  
むら雀

ほととぎす  
平安城を  
筋違に

夏河を  
越すうれし  
手に草履  
さよ

夕立が降ってき  
たなめ。  
草葉をつかむ  
ようになあ  
か。くねるす  
ずめの群れ  
た。

ホトトギス  
が鳴きなが  
ら  
平安京の跡地  
を筋違に  
飛んでいた。

夏の川をは  
だしで  
越すうれし  
きよ。こ  
う。う。そ  
う。